

# 東白石中学校



Thanks Mail

## 北海道日産自動車(株) 白石店 様

この度の職場体験学習では皆様にはあたたかく迎えていただき、本当にありがとうございました。その上、普段はなかなかできない貴重な体験をさせていただきとても勉強になりました。特に洗車の体験は心に残りました。そして、接客や洗車などの大変さや楽しさを学ぶことができました。本当に良い思い出になりました。 2年 O・I

## 北海道日産自動車(株)白石店



## 接客マナーも丁寧な整備もすべてはおお客様の満足のため

国道12号線に面し、広いショールームと整備工場を備えた「北海道日産自動車(株)白石店」。冬を目前に控えてタイヤ交換に忙しい中、男子3人・女子3人が職業体験でお世話になりました。

当日は男女に分かれ、まずは女子がショールームでお客様をお迎えしてお飲物の用意をしました。「わかりました」ではなく「かしこまりました」などの言葉遣い、お辞儀の角度や手の位置など細かく指導されて戸惑う3人。しかしショールームに並ぶ車を見て「高価な商品を扱うからこそ、お客様への誠意を言葉遣いや動作で表現することが大切なんですね」「カップの向きやスプーン的位置も気配りの現れと知って驚きました」と、接客マナーの意義を実感したようです。

一方、全員車好きという男子は整備の仕事に興味津々。タイヤ交換をお手伝いさせていただき、「冬道を安心して走行してもらえよう、正確な仕

事と安全確認が大切」という整備士の方の言葉に頷いていました。次は洗車。柔らかい布でボディの水滴を拭き取るのですが、ドアの縁やラジエーターの間隙などをつい見落としがち。布を絞ると冷たい水に指がかじかみます。「お客様の車にキズを付けたり拭き残しがいいよう、細かい気配りが必要だと痛感しました」「冬は大変な仕事だけど、車が好きだから乗り越えられるのかな」と、好きなことを仕事にする楽しさと厳しさの両面を味わう体験となりました。



## (独)国際協力機構北海道国際センター(JICA札幌)



## 途上国支援と震災支援 支えあう絆を知り、世界に一步近づいた

JICA(国際協力機構)は日本の政府開発援助(ODA)を通して開発途上国への国際協力を行っており、JICA北海道にも世界の途上国の人々が技術研修員として通っています。職業体験に訪れた男子3人・女子5人の生徒も日頃から外国人の姿を見かけていたものの「技術を学ぶために日本に来ていることを初めて知りました」「途上国の発展のために日本の技術が役に立っているのはうれしい」と興味深げです。

この日は各自が世界の一員としての意識を持つため、お互い「キャシー」「マイケル」などのニックネームで呼び合うのがルール。最初は照れていた生徒たちも次第に慣れてきて、和やかな雰囲気の中でプログラムが始まりました。午前中は施設見学やJICAの説明のほか、「世界が100人の村だったら」と仮定して多様性や格差について考えるワークショップを体験。「海外で働いてみたいと思っていたけど、こんな仕事もあるんだと視野

が広がった気がします」「日本では当たり前の生活がとても恵まれていることを実感しました」など、新しい視点を得たようです。

午後は、東日本大震災の被災地に寄せられた世界の支援状況を伝える展示物を製作しました。先進各国の救助チームだけでなく、日本より貧しい途上国も含めて世界163カ国から支援が集まった事実一同びつくり。展示物を通して見えない絆への感謝を表現したことで、世界に一步近づいたのではないのでしょうか。



## 北陸銀行白石支店



## 正確・迅速・丁寧な仕事ぶりが預金者の安心につながるんですね

「北陸銀行白石支店」は地下鉄出口やショッピング施設に隣接して利用しやすく、地域のみなさまに親しまれています。今回は2年生の男女各3人・計6人が訪れ、お金の扱い方や接客などを学びました。

普段は銀行に足を運ぶことの少ない生徒たち。お客様と直接やりとりする窓口業務、窓口から回された書類などの処理や電話受付、オペレーションなどを行う後方業務など、どの部署もつねに忙しく動き続けている様子に少々圧倒され気味です。「午後3時に閉店してからはもっと忙しくなりますよ。残高に1円でも誤差があれば揃うまで何度もやり直します」という説明を聞き、お金を扱う責任の重さに一同の顔が引き締まりました。

そのあと千円札1,000枚の束にさわらせてもらってお金の重みを肌で味わい、お金の数え方も教えていただきました。「偽札やカラーコピーが混じっていないか同時にチェックしています」と言いながらすばやくお札を数える行員の方の手さばきを目を見

張る6人。最初はぎこちなかった手つきも徐々にめらかなになり、お褒めの言葉をいただきました。

その後ロビーでのお客様へのご挨拶を体験してプログラムは終了。「安心してお金を預けられるのは、行員の皆さんの正確・迅速・丁寧な仕事あってこそなんですね」「札束の重みを知り、大きなお金を動かす銀行の仕事に興味を持ちました」など、預ける側と働く側の両面から、銀行を身近に感じる事ができたようです。

